



第 62 号



発行/社会福祉法人 素心会
 責任者/事務局長 高瀬 尚人
 〒259 - 0103
 神奈川県中郡大磯町虫窪 39 番地 1
 TEL.0463 - 71 - 1255
 レイアウト・印刷 貴峯荘ワークピア

素心学院夏祭り



平成 30 年 8 月 4 日に素心学院にて夏祭りを開催しました。素心会では例年この時期に三事業所合同で納涼祭を行なっていますが、今年 3 月の大雨により素心デイセンターグラウンド北側にある斜面が崩落し、擁壁のずれやひび割れなどの自然災害が発生し修繕工事が必要となり、今年度の納涼祭は中止を余儀なくされました。しかし、毎年恒例である納涼祭は利用者が楽しみにしている行事の一つであるため、今年度は規模を縮小した内容で夏祭りを企画しました。

今年は猛暑日が続く熱中症も懸念されたため、室内で実施し利用者の方々にも少しでもお祭りの雰囲気を感じていただければとの思いで、昼食は焼きそばや焼き鳥、ポテトフライなどの屋台風メニューをご用意しました。また模擬店として、かき氷、綿菓子、チョコバ



ナナ、的あてや輪投げなどの景品付きのゲーム、イベントとして盆踊りも行いました。口どけの良いかき氷とフワフワで甘い綿菓子に「おいしい」と利用者の方々から声が聞かれ何度か並ぶ方もいらつしやるほどでした。夏の風物詩である盆踊りは参加される方が多く「炭坑節」を和太鼓を中心に皆さん思い思いの振り付けで踊り、その和太鼓を力強くリズムカルに叩く利用者の方もできて、大いに盛り上がりました。

初めての試みであった夏祭りですが、利用者の方々の笑顔をたくさん見ることができ、あらためて支援者として従事していることの喜びを感じられる一日となりました。

素心学院 支援一課長 西垣 宏和

虫窪 24 番地

むしくぼ ニジユウヨンパンチ



2018 年 1 月 4 日あるプロレス団体が開催した東京ドーム大会に 3 万 5 千人の観客が集まった。10 年代最多の観客動員であった。90 年代黄金期、東京ドーム大会には毎回 4 万人を超える観客が集まっていた。私もその観客の 1 人であった。それが 00 年代には観客数は半減する。格闘技団体がテレビ中継され満員の観客を集め、時流に乗れ格闘技イベントに出場するプロレスラーも多くなった。そんな中、空席が目立つ会場でも、古くからのファンからはブーイングを浴びせられながらも、どんな会場でもあるプロレスラーは叫び続けていた「愛してまーす」と。プロレスを愛し、ファンを愛し、所属団体を愛し続け、2018 年 1 月 4 日東京ドームでそのプロレスラーは大歓声を浴びていた。

続けられる強さ、負けない心を持ちたいと思った 4 回目の年男を迎えた新春であった。

素心デイセンター

梶山 政明



夏の期間はプールを設置し、児童と
合同で利用しました。(生活介護)



夏の行事として児童と一緒に
流しそうめんをやりました。(生活介護)



屋外で花の手入れを
しています。(生活介護)

地域支援センターそしん一周年を迎えて

今年8月に、地域支援センターそしんは二宮町の山西に移転し一周年を迎えました。

空間や設備の拡充により、学齢期前の児童から高齢の方まで一貫してサービスを提供する体制が整いましたが、この一年を振り返ると、ご利用されている皆さんは、私たちの予想以上に環境に早く慣れることができました。今回は、昨年8月から新規事業として開始された生活介護事業と、新しい活動環境のもとでスタートとなった児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業をご紹介します。

生活介護事業では、現在20名の利用者の方へ日中の活動を支援するサービスを実施しています。園芸や陶芸、また、「シヨコラミール」という専用の石臼を使って



調理体験もしています。
(放課後等デイサービス)



焼きあがった陶器の手入れを
しています。(生活介護)



児童発達支援事業でも屋外の
スペースも活用しています。



特殊浴槽設備(支援センター)



入浴時は手動式のリフトも使用
しています。(支援センター)



専用の石臼でカカオ豆を
挽いています。(生活介護)



広い空間を有効に使っています。
(放課後等デイサービス)

カカオ豆をすりつぶしてチョコレートを作る活動などに取り組んでいます。皆さんの生活の場はご自宅やグループホームとなりますが、知的障害と身体障害を併せ持つ方や高齢で病弱な方を主な対象としているため、以前からご要望の高かった特殊浴槽設備を利用した入浴の機会も提供させていただいています。サービス管理責任者からは、「事業開始後、地域にお住まいの方のご利用が新たに開始となりました。この事業を通してどのように地域に貢献できるか考えていきたい」との言葉が聞かれました。

児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業については、身体障害を持つ児童にとっても安全で活動しやすい空間となりました。この両事業のサービス管理責任者からは「両事業とも、子どもたちの発達と成長を支えることはもちろんですが、この場所を安心して自分らしく過ごせる居場所にしていきたい」との言葉が聞かれました。

「質の良い暮らしを自分たちの手でつくる」ということが、移転・開設の際掲げたテーマでした。地域支援センターそしんは15年前に地域に向けて小さな一歩を踏み出したが、児童から成人、そして相談支援とグループホームの統括、居宅介護・重度訪問介護・移動支援を担う多機能型の事業所として、地域の皆様に支えられ確かな足跡を刻むことができたのではないかと思います。今後も、地域とともに質の良い暮らしを目指して歩む姿をご紹介させていただきます。

素心デイセンター

家族ペシリレー

芦澤 良さん
芦澤 眞弓さん(母)

今年で26歳になる良は、素心デイセンターでお世話になり8年目になります。

けれども、良の生活は子供の頃とほとんど変わりません。早寝早起き、朝晩パズルを組み立て、トランプやウノのカード等を色ごとに並べたり重ねたりしてくつろいでいます。

言葉は「やだあ」とか「はい」など以外は、「アンパンマン」関係の単語のみ。

生まれてはじめて発したのが「アンパンマン」で、良に



とってかけがえのないキャラクターです。

くいしん坊で献立表を毎日確認し、家では冷蔵庫やお菓子の棚のチェックも欠かせません。

金属音や高音の人数が苦手、耳をふさぎ大声を出すので、ご迷惑をおかけしていますが、良に合わせた環境を整えて下さり、良も安心して休まず毎日元気に通っているので感謝しています。宜しくお願いいたします。



花だより



●^{あいた}相田^{まちこ}真知子^{まちこ}さんについて.....

「ひでみちゃん」この年齢になってこんなに毎日、名前と呼ばれるようになっては思ってもいませんでした。真知子さんとは私が実習班（昔は班でした）のころ、一緒に作業をしていました。真知子さんは今とは比べ物にならないくらい元気（表現が難しい）でした。年月を経ていまは笑ってばかり、楽しそうな真知子さんの顔が見られます。昔の真知子さんを知る職員なら、劇的な変化。利用者のみんなからは「まっち、うるさいよ」と言われようともへこたれず、マイペース。今年65歳、くしゃくしゃな顔をして笑う真知子さん、まだまだ元気に過ごしてくださいね。

素心学院 支援二課長 磯崎ひでみ

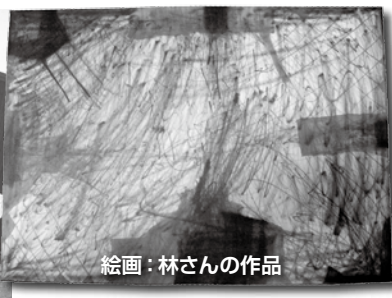
●^{はし}林^{まさ}さんについて.....

林さんは忍者のような方です。素心学院内のいろいろな場所に現れては素早く去っていきます。素心学院のフェンスを飛び越えてしまったこともあります。飲み物が提供される場所にはどこへでも馳せ参じます。

毎晩22時からは支援員がコピーを提供し、かつて賞を取られたこともある絵画創作に没頭した後、23時頃には就寝します。眠れない時は枕のカバーをかぶって遊んだり、居室から出て階段を繰り返し上ったり下ったりしています。

これからも色々な所にひょっこり現れて元気な姿を見せたいだけだと思います。

総務課 伊佐 友志



絵画：林さんの作品



後援会 会員募集

*****会費の納入先*****

- 会費は個人一口、年 1,000円から
法人・団体一口、年 10,000円から
- 会員には、新聞「そしん」を
お送りします。
- 行事のご案内などをします。
- 銀行振込は
中南信用金庫国府支店
014-0139723
郵便振替はどこの郵便局でも
00270-0-19507です。
- 口座名は
社会福祉法人素心会後援会
会長 鈴野七郎
※新しく会員になっていただける方は、
ご住所を電話等でお知らせくださる
ようお願いいたします。
- 事務局
〒259-0103
神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1
素心会後援会
TEL.0463-71-1255
FAX.0463-73-0009



素心デイセンタ―では、平成30年4月より改装工事を行った作業棟を利用して自閉スペクトラム症の方を中心とした支援を行っております。改装工事の内容としては、壁やトイレの増設、出入りする扉の追加、水栓の配置交換などを行いました。改装工事に際しては、再整備プロジェクトというチームを発足させ、支援員一同で意見を出し合い、より良い環境を目指して計画、設計していきましました。

工事の期間は約2カ月、工事期間中は作業室が使用できなくなるため、段階を置いて順次引越し作業を行いました。自閉スペクトラム症の方の活動が多数いらつしやるため、慣れない場所での活動が苦手な方も多く、引越しは出来る限りの配慮を行いながら慎重に実施し、引越しによる混乱を招くこともなく、非常にスムーズに引越しも完了しました。

改装工事を終えた作業棟は、以前と比べスペースが大幅に増え、作業や余暇活動に大きな広がりを持てるようになりました。そのため、新たな作業を開始することができ、余暇活動の充実を図ることができております。そして何より自分だけのスペースを確保できたことにより安心感や、今何をすべきかを明確に伝えられるようになりました。

作業棟の使用、自閉スペクトラム症の方への支援も開始したばかりですが、みなさん一人一人の強みをぐんぐん伸ばしていけるよう、職員一同一生懸命取り組んでいきます。

素心デイセンタ― 小清水俊介

「すずらんグループ 業務用清掃機器の使用について」 ～素心学院～

すずらんグループでは日中活動として素心学院の清掃業務を日々実施しています。

平成29年12月に新たな試みとしてケルヒャー清掃機器2種類を導入しました。まず、1種類目は手押しスライパーです。機器の特徴として効率よくゴミをかき集めることができ、ハンドルを軽く押して歩くだけで清掃が行えます。2種類目は床洗浄機です。機器の特徴として洗浄能力の高いローラーブラシが搭載されており洗浄水の噴射、ブラシ洗浄、汚水回収と1台で3役をこなしており操作も簡単です。いつでも手軽に床の清掃ができます。

平成30年2月中旬から3月までは清掃機器の体験期間として利用者の方々に清掃機器の使用の仕方をレクチャーし実際に機器を操作してもらい様子を見ていきました。床の汚れが目に見えて落ちたことが確認できたりホコリやゴミが機器の中に溜まる様子を目の当たりにするとみなさん笑顔が見られ、真剣に機器を操作されていました。同年4月から日中活動がある日については毎日順番に清掃機器を使用して学院全体の清掃業務に取り組んでいます。

素心学院 支援一課 加藤 悠

素心会 事業所 アドレス

素心学院	神奈川県中郡大磯町虫窪 39 - 1	TEL.0463 (71) 1255 FAX.0463 (73) 0009
素心デイセンタ―	神奈川県中郡大磯町虫窪 18 - 1	TEL.0463 (71) 1256 FAX.0463 (71) 1284
地域支援センターそしん	神奈川県中郡二宮町山西 1234-1	TEL.0463 (70) 3577 FAX.0463 (72) 2577
さざんかホーム	神奈川県中郡大磯町国府本郷 1308	TEL.0463 (61) 1519 FAX.0463 (61) 1519
ガモめホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 1370 - 23 コープKY2F	TEL.0463 (61) 5404 FAX.0463 (61) 5404
つばきホーム	神奈川県中郡大磯町国府新宿 482 - 1	TEL.0463 (71) 0990 FAX.0463 (71) 0990
シーベルホーム	神奈川県中郡大磯町石神台 3 - 18 - 16	TEL.0463 (71) 3878 FAX.0463 (71) 3878